

2019年国際華語特別集会の標語

キリストのからだの実際は、神と人の結合とミングリングであり、団体の神・人を生かし出します。

わたしたちはキリストのからだの実際の中で生きようとするなら、からだのために、からだの中で十字架の働きを経験する必要があります。

からだの啓示がある所には、からだの感覚があります。からだの感覚がある所では、個人主義的な思想や行動は除き去られます。

キリストのからだは、キリストを経験した結果です。ですから、わたしたちは死にもの狂いになって祈る必要があります。それはわたしたちがキリストを生きて、キリストのからだが実際となるためです。

(2019年2月15日—17日)

主題：

からだの原則を守ることによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 1

キリストのからだの実際

聖書：ローマ 8:4, 12:4-5. I コリント 6:17, 12:27. エペソ 4:16, 21. ピリピ 3:10

- I. 神のエコノミーの最高峰は、キリストのからだの実際です——ローマ 12:4-5. I コリント 12:13, 27. エペソ 1:22-23. 4:16. コロサイ 1:18. 2:19。
- II. キリストのからだの実際は、わたしたちの中へと造り込まれ、わたしたちの存在の中へと構成し込まれた実際の霊です——ヨハネ 14:17. 15:26. 16:13. I ヨハネ 5:6. エペソ 3:16-21. 4:4-6, 12, 16。
- III. キリストのからだの実際は、四福音書に記録されているような、「イエスにあるあの実際」(エペソ 4:21)、すなわち、イエスの生涯の実際の状態であり、成就された神・人の団体の生活として、彼の多くの肢体の中に複製されています——ヨハネ 14:6 前半. エペソ 4:20-24. ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:8, 19-21 前半. 2:19-30 :
 - A. イエスは生活において、神の中で、神と共に、神のためにすべての事を行ないました。神はイエスの生活の中におり、イエスは神と一でした。これがイエスにあるあの実際です——エペソ 4:21。
 - B. 神の喜びである唯一の生活は、キリストが地上で生きた生活の繰り返しである生活です。わたしたちは主によって成就されて神・人になり、第一の神・人としてのキリストの原型にしたがって、わたしたちの天然の命を否むことによって神聖な生活をしつつあります——マタイ 11:29 前半. 17:5 後半. I ペテロ 2:21。
 - C. キリストのからだの実際の中の生活は、イエスの生活と同じです。それは、イエスが彼のからだの肢体の中で再び生きることです——エペソ 4:21. 5:30. I コリント 12:27。
- IV. キリストのからだの実際は、神と人の結合とミングリングであり、団体の神・人を生かし出します——エペソ 4:4-6, 16, 21, 23-24 :
 - A. キリストのからだの実際は、神に贖われた一群れの人々が、神・人であるキリストと共に、神・人の生活をすることです——ピリピ 1:19-21 前半 :
 1. 主イエスは彼の復活の中で、多くの兄弟たちを生み出し、長兄としての彼を伴って、大いなる団体の神・人とならせました。この宇宙的な人は、神であるが人であり、人であるが神です——ローマ 8:29. エペソ 2:15。
 2. 命を与える霊はわたしたちを再生した後、わたしたちの中に住み、わたしたちの霊とミングリングされて、わたしたちと共に神・人の生活をします——I コリント 15:45 後半. 6:17。

3. このような生活の結果、宇宙的な人を生み出します。彼は主イエスと全く同じであり、神聖な命によって神・人の生活をする人です——エペソ 4:21, 24. Iヨハネ 2:6. 3:1-2. 4:17。

B. キリストのからだの実際は、神・人による生活です。彼らは人性と神性、また神性と人性のミングリングによって、共に神と結合され、神に結び付けられ、神で構成されます——ヨハネ 14:20. 15:4. エペソ 4:4-6, 16, 24. ピリピ 1:21 前半。

C. キリストのからだの実際は、成就された神・人による団体の生活です。彼らは自分の命によって生きるのではなく、手順を経た神の命によって生き、手順を経た神の属性は彼らの美德を通して表現されます——ガラテヤ 2:20。

V. キリストのからだの実際は、キリストの死に同形化される団体の生活です——ピリピ 3:10. Iコリント 12:12-13. IIコリント 4:10-12. ローマ 8:13-14. 12:4-5 :

A. キリストを追い求める神・人の生活は、十字架の経験を通してキリストと共に死ぬことを追い求める生活です——マタイ 10:38. 16:24 :

1. 十字架は、わたしたちの経験とならなければなりません。わたしたちの心の中へと入る十字架は、わたしたちの主観的な経験となっている十字架であり、わたしたちにキリストを生きさせます——ガラテヤ 6:14. 5:24。

2. 十字架の下での生活は、わたしたちの存在の最も深い部分と、わたしたちの日常生活におけるあらゆる詳細に触れます。

B. わたしたちはキリストの復活の力によって、キリストの死に同形化されます——ピリピ 3:10. ヨハネ 11:25. エペソ 1:19-20. 3:16. 雅 2:8-13。

C. キリストのからだの実際は、十字架を通してキリストの死に同形化される生活です——ピリピ 3:10 :

1. 十字架（キリストの死）は、クリスチャン生活をするわたしたちの道の中心性また普遍性であり、神の定められた御旨を完成するためです。

2. わたしたちはキリストの継続として、毎日、十字架につけられた生活をすべきです——Iコリント 15:31. IIコリント 4:10-11。

D. わたしたちはキリストの死をわたしたちの生活の鑄型とすることによって、十字架につけられた生活をする人となるべきです。このような団体の生活によってはじめて、わたしたちはキリストのからだの実際を持つことができます——ピリピ 3:10. ローマ 12:5. Iコリント 2:2. 12:27。

VI. キリストのからだの実際の中にいることは、ミングリングされた霊の中で生きることです——ローマ 8:4. 12:4-5. Iコリント 6:17. 12:12-13, 27. エペソ 2:22. 4:16, 23 :

A. 神の唯一の定められた御旨とは、ご自身をわたしたちとミングリングして、彼がわたしたちの命、性質、内容となり、わたしたちが彼の表現となることです——ヨハネ 14:20. 15:4-5. エペソ 3:16-21. 4:4-6 :

1. 神は彼のエコノミーの中で、ご自身をわたしたちとミングリングして、わたしたちと共に一つの実体となります——Iコリント 6:17。

2. わたしたちは救われて、わたしたちと神が完全にミングリングされて一となり、一つの命と一つの生活を持つ程度にまでなります——ヨハネ 15:4-5. ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半。

- B. 神のエコノミーの中心点は、ミングリングされた霊、すなわち神の霊と人の霊のミングリングです。神が行なおうとすること、あるいは完成しようとすることは何であれ、この中心点と関係があります——エペソ 3:9, 5. 1:17. 2:22. 4:23. 5:18. 6:18。
- C. ミングリングされた霊は、神と一つ霊である霊です。この霊は、神の神格においてではなく神の命と性質において神と同じです—— I ヨハネ 5:11. II ペテロ 1:4 :
1. 神の霊と人の霊はミングリングされて、わたしたちの内側で一です。それは、わたしたちが神・人の生活、すなわち、神であるが人であり、人であるが神である生活をするためです——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半。
 2. 神・人の生活は、二つ霊（神の霊と人の霊）が、共に結合されミングリングされて一となっている生活です。
- D. わたしたちはミングリングされた霊にしたがって歩くことによって、キリストのからだの実際の中で生きます——ローマ 8:4。